

インフォシス Finacle がブロックチェーンをベースとしたトレードファイナンス・ソリューション(Trade Finance Solution)を発売

バンガロール -2017年11月29日: インフォシス(NYSE: INFY)の製品子会社である EdgeVerve Systems 社の Finacle 製品は、銀行向けのブロックチェーンをベースとしたトレードファイナンス・ソリューションである Finacle Trade Connect が全世界で利用できることを本日発表しました。本ソリューションは、分散し、信頼され、共有されたネットワーク上で作業を行いながら、所有権の検証、ドキュメントの認証および決済の実施を含めたトレードファイナンスビジネスプロセスのデジタル化の手助けをします。本ソリューションは、手形回収、信用状、トレード用口座開設、トレード用 C2C トランザクションズ、トレード用 B2C トランザクションズ、PO ファイナンスとインボイス・ファイナンス(売掛金担保融資)を含む機能範囲に利用することができます。

インフォシス Finacle は、Finacle Trade Connect ソリューションをテストする銀行向けの試験的トレードファイナンスネットワークも発売しました。11の銀行がネットワーク上でインフォシス Finacle と提携しています。

ソリューションの主なメリット:

- 本ソリューションにより、トランザクションに関与する全ての関係者が同時にメッセージおよびドキュメントを共有することから、信頼できる唯一の情報源 (single source of truth) が提供され、信頼を高めることとなります。
- 粒度の細かいトレードの共有画像を提供および効率的なリスク管理を可能とし、取引の流れや情報が同時に個々の関係者に可視化されます。
- より高い自動化を提供し、透明性を向上させ、データのリアルタイムでの利用を可能とすることにより、より良い意思決定が可能となり、銀行および企業向けに新たなビジネス手段を開くことができます。
- 銀行、買い手および売り手は継続して直接的関係を維持し、デジタルチャネル上で互いに直接関与することができます。

本ソリューションは、銀行が多様なビジネス領域にブロックチェーンをベースとしたサービスを迅速に導入できるアセット非依存型で認可型・分散型元帳である EdgeVerve Blockchain Framework に基づくものです。本フレームワークは、分散型台帳でビット

コイン、ハイパーレジャー、イーサリアム、および Corda 等業界をリードするブロックチェーンのプラットフォームとの作業も可能です。

インフォシス Finacle の最高業務責任者である Sanat Rao は、“通常、トレードファイナンスプロセスは複雑な文書記録プロセス、高いトランザクションコスト、多くの決済回数、およびフィジカル・ドキュメントによる低い信憑性を伴います。結果として、銀行の企業顧客は遅延、高いコストおよびリスクに晒されています。さらに、トレードファイナンスの大多数の申請が通過しないことから、世界中のほとんどの小企業の顧客がトレードクレジットへのアクセスについて課題を経験しています。Finacle Trade Connect は、銀行が社内および企業顧客との間で直面している差し迫った問題の緩和の手助けを行い、さらに多くの銀行との間で協業する機会を飛躍的に増大させる利点があることから、大きな可能性を有しています。当社は、ブロックチェーン技術の革新的なメリットを実現するためのこの取り組みを通じて顧客の支援に努めていきます。”と述べています。

インフォシス Finacle について

インフォシス Finacle は、インフォシスの完全子会社である EdgeVerve Systems が提供する業界をリードするユニバーサル・バンキング・ソリューションです。本ソリューションは、デジタル世界において金融機関がステークホルダーとより深くつながり、継続的なイノベーションを後押しし、成長を加速化させる手助けを行います。今日、Finacle は 94 カ国の銀行に選ばれ、世界の銀行を利用する成人人口の 16.5 パーセント近くにあたる 8 億 4800 万人のお客様に利用されています。

Finacle ソリューションは、世界中の金融機関のコアバンキング、e-バンキング、モバイル・バンキング、CRM、ペイメント、トレジャリー、オリジネーション、流動性管理、イスラム銀行、資産管理、およびアナリティクスのニーズに対応しています。

世界のトップ 1000 の銀行の評価にて、Finacle の支援を受けた銀行では、50 パーセント高い資産利益率、30 パーセント高い資本利益率、および他社と比較し、収益に対してコストが 8.1 パーセント下がったことを明らかにしています。

詳細については、www.finacle.com をご訪問ください。

お問い合わせ先

マーケティングマネージャ

安藤穰 jo_ando@infosys.com